

政治資金残りあと

96,805円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

前回までの残高	63,771円
印刷代（ビラ印刷代）	19,462円
交通費（駐車場、燃料代）	7,048円
通信費（携帯電話）	6,956円
会場費差額	500円
自己資金	-50,000円
寄付 伊藤様、相馬様、匿名様	-17,000円
合計 01/9/2～01/10/1	-33,034円
寄付は、さがみ信用金庫 大井町支店出張所 普0051228 武松政策研究会 武松忠 まで	

市政を考える

月刊武松

発行日

01/10/1

第27号

たけまつ

ただし

頒布責任者：武松 忠

武松政策研究会

（仮）西さがみ連邦共和国！？

市町村合併の研究と住民への情報提供をする！

■（仮）西さがみ連邦共和国！？（記者発表抜粋）

1. 目的

地方分権や少子・高齢化の進展など地方自治体を取り巻く環境が著しく変化する中で、歴史的な結びつきも長く深い、小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町 1市3町は、一つの行政圏・生活圏として協働することも必要となっています。その視点から、住環境の向上策や広域行政の拡充策を探るとともに、**市町村合併に関する研究を行い、これらの情報を住民に提供していくため、新しい世紀に新しい型の広域連携を目指していくものです。**

2. 取り組む事業

（1）事務事業の協働化

圏域の活性化や圏域住民の利便性の向上などを目指すため、事務事業の協働化を検討・実践していきます。

（例）観光振興、スポーツ・文化イベント

（2）職員研修・人事交流

市町間の人事交流を図り、新しい広域連携を支え、担う人材を育成していきます。

（3）広域連携と市町村合併についての研究

新しい広域連携のあり方について研究するとともに、**市町村合併に関するメリット、デメリット、課題・問題点等について情報収集・整理を行い、住民にこれらの情報を提供します。**

（4）フォーラム等の開催

フォーラム等の開催（第1回目は建国フォーラムとして11月～12月に開催予定）により、圏域住民とともに圏域の将来像や今後のまちづくりについて考えていくための機会とします。

■建国プレイベント白銀林道ウォークよもやま話

9/24に開催された白銀林道ウォークに参加してきました。雲ひとつない晴天の中、各市町の幹部職員や湯河原町議と色々な話をすることができました。概略を箇条書きします。（真偽は未確認）

- ・夏休み中の小田原-湯河原は、車で1時間。
- ・真鶴半島の木を売却すると100億円になる。
- ・湯河原の幕山は坊主だった。（戦後、薪が燃料）
- ・箱根町の幹部職員は、小田原在住または出身者が半数以上である。
- ・共同事業を企画すると、「小田原さんやってよ」と町側職員に依存体質がある。
- ・合併するとしても、わざわざ新しい施設をつくる必要は無い。
- ・神奈川ゆめ国体の施設整備の借金返済が厳しい。

聖域なき構造改革用語解説

特殊法人削減！？

道路公団に代表される**特殊法人削減**が話題になっていますが、少しわかりやすく整理してみます。

特殊法人は、それぞれの法律で特別に作られた会社です。国と民間の中間の仕事をしています。

道路公団を例にすると、高速道路は全国の人のためではなくて、急ぐ人のためにあるから、国が実施することはできない。しかし、当時の状況で民間が自力で高速道路を作ることができなかった。

そこで、道路公団を創り高速道路を作らせ、通行料金で建設費を返済していくようにした。

基幹路線が完成すると、採算を見込めない道路も建設されるようになり、莫大な借金を抱える結果となった。**問題は、組織の削減や分割ではなくて、不採算路線に投資した構造にあるのだが・・・**

ちよつと一息！？

9月定例会は、議員個人が行う一般質問を休みました。（初めて一般質問を休みました。）

青年会議所のフォーラムの準備や、西湘貨物駅跡地の大型娯楽施設の住民説明会も環境面の対応で、特に市行政側の対応を質す要望ではなかったためです。（言い訳のようですが・・・）

青年会議所のフォーラムでは、**元内閣官房副長官の石原信雄氏**とフォーラムの前に色々な話ができてすごく勉強になりました。

特に地方交付税制度の創設時の日本の状況や、都市部と地方の関係、その後に制度をいじくり過ぎて複雑で不透明なものにしてしまったことなどです。

また、今の合併特例法は、「合併するのに新たに施設や道路の整備や事務手続きの統合にお金が必要だから、借金できる額を増やします。」というものです。この制度だと、合併してメリットが出てくるのは、権限と財源が増える政令指定都市（人口50万人以上で他の都市と規模、行財政能力が同等）となるため、さいたま市や合併が予定されている清水市と静岡市のような**大規模合併しか進まないのでは**と話していました。

2市8町が合併しても、人口は36万人しかありません。この規模だと中核市相当ですから、保健所や児童相談所の設置ができる程度で、大きく権限や財源が増えるわけではありません。合併を安易に勧められる状況ではないのです。（武松）

The Voice 今までに頂いたご意見から

今回は小田原市行政改革市民会議がまとめた小田原市の行政改革に関する提言の中で、議員に関する提言がありましたので掲載します。

提言28. 議員のあり方を確認する。

議員の活動を、住民全体の代表として住民の意思を吸収し、政策を決定し、行政をチェックするという本来の目的に沿って、住民の意思が日常的に議員に届くようにするとともに、議員や行政が保有している情報を市民に公開し、住民からのフィードバックを可能にすべきである。

また、現在の議員の一部は、**特定の地域の世話役になっている面もあることから、議員の定数を減らす、報酬を見直す**と同時に、議員の立法のためのスタッフ、物的設備を充実させるべきである。

行政改革推進のためにも、議員が先頭に立って、このような議会改革を含む行政改革を議員自ら進めるべきである。

小田原市議会9月定例会中に、議会内に、市町村合併問題調査特別委員会、議会改革検討委員会、小田原市議会議員定数検討委員会が設置されました。これから具体的に検討していきます。

また、市議会の会派控室には昨年、ネットワークパソコンが整備されました。

（武松）

武松政策研究会 月例勉強会のお知らせ

日 時：10/20（土）18時～20時

場 所：市民会館6階第1多目的室

テーマ：「市内の国県道事業について」の予定です。

講師：市国県道対策課担当（予定）

どなたでも自由に参加できます。当日現地に来て下さい。参加費100円



お知らせ！

11月の月刊武松配布と勉強会は、行政視察等と重なるため中止致します。

会員募集！ 後援会員を募集しています。年会費103000円で上限は100とします。

会費は月刊武松の制作や発送、勉強会の運営、交通費等に充てられます。

振込先：さがみ信用金庫 大井町支店 出張所 普0051228 武松政策研究会 武松忠 まで！